

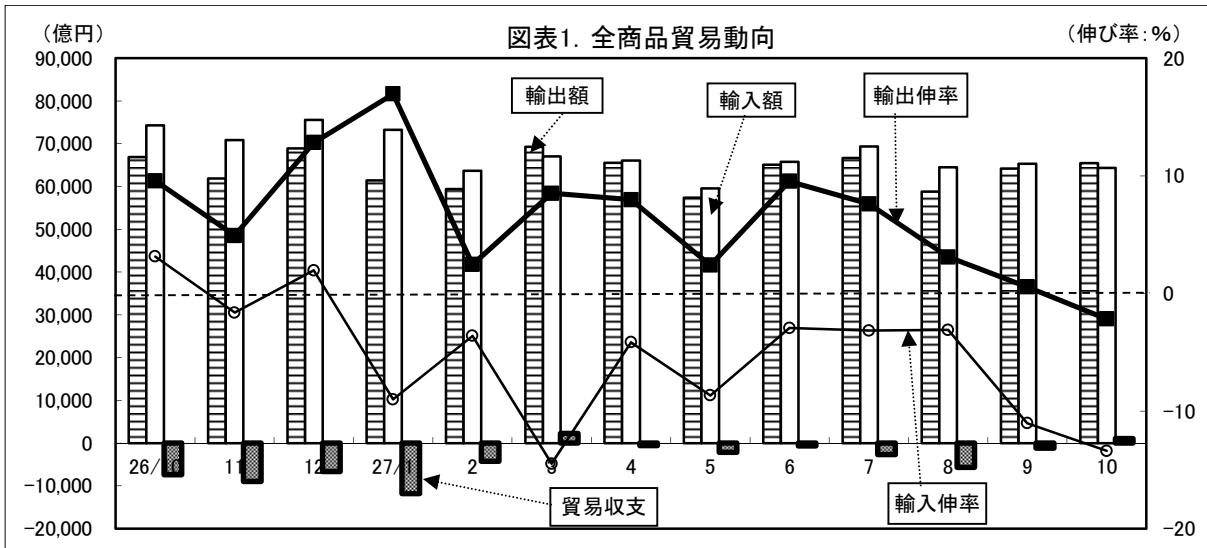
最近の機械貿易動向(10月)～機械輸出伸び率14ヶ月ぶりにマイナス～

日本機械輸出組合 2015.12.14.

平成27年10月の機械輸出額は4兆2,905億円、対前年同月比0.6%減と、14ヶ月ぶりにマイナスとなった。これは、①中国はじめ、3地域向けがマイナスとなったこと、②産業機械、電子デバイス等の伸び率が鈍化したことなどによる。為替・営業日要因が0.9%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は1.5%減と5ヶ月連続でマイナスとなった。11月の為替・営業日要因は10.2%の増加寄与要因となっているが、12月8日発表の貿易統計速報によれば11月上中旬の全商品輸出は0.4%減であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は14ヶ月ぶりにマイナス～

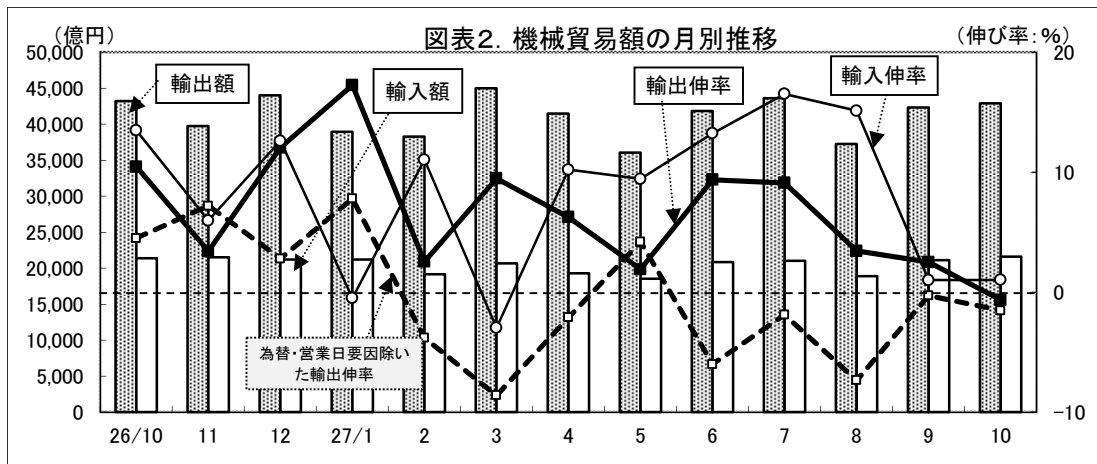
- 1) 平成27年10月の全商品輸出額は**6兆5,425億円**、前年同月比(以下同じ)**2.2%減**と14ヶ月ぶりにマイナスとなった(9月0.5%増)。これは、全輸出額の約25%を占める自動車等輸送用機器(0.7%増)がプラスとなったものの、12%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(9.2%減)、19%の一般機械(2.2%減)等がマイナスとなったためである。
- 2) 輸入額は**6兆4,342億円**、**13.4%減**と10ヶ月連続でマイナスとなった(9月11.0%減)。これは、全輸入額の約10%を占める医薬品等化学製品(8.8%増)、17%の電気機器(1.0%増)が増加したものの、19%を占める原油等鉱物性燃料(43.2%減)が原油価格下落で大幅に減少したことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、1,083億円の黒字となった(7か月ぶりの黒字。9月は1,158億円の赤字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は14ヶ月ぶりにマイナス～

- 1) 全商品輸出額の約66%を占める10月の機械輸出額は**4兆2,905億円**、**0.6%減**と14ヶ月ぶりにマイナスとなり(9月2.5%増)、輸出額の水準は、リーマンショック前(2007年10月)と比べると**83.2%**となり、前月に比べて1.1ポイント悪化した(9月84.3%)。
- 2) 一方、全商品輸入額の約34%を占める機械輸入額は、**2兆1,611億円**、**1.0%増**と7ヶ月連続でプラスとなった(9月1.0%増)。リーマンショック前(2007年10月)の水準と比較しても21.7%増となっている。

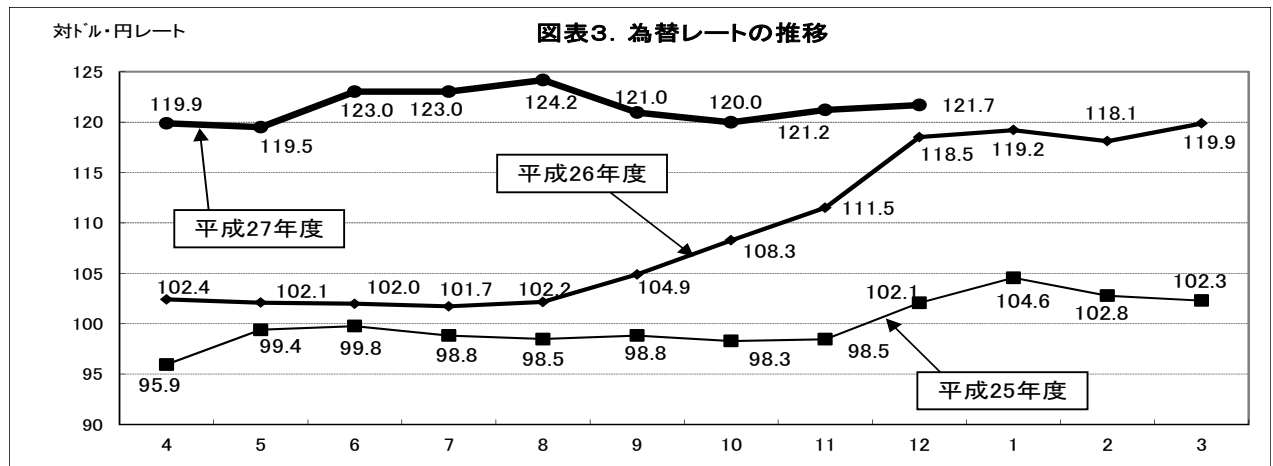


(2) 為替動向・営業日～10月は0.9%の増加要因、11月は約10.2%の増加要因～

1) 10月は1ドル=120.0円となり、前年に比べ10.8%の円安となった。また、対ユーロは135.1円と前年に対して2.2%の円高となり、合わせて約5.7%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日少ないため、4.5%の減少要因となり、合計で約0.9%の増加要因となる。10月の輸出額は0.6%減であったことから、実質的伸び率は1.5%減と5ヶ月連続でマイナスとなった(9月0.3%減)。

2) 11月は1ドル=121.2円で前年比8.7%の円安、対ユーロでは133.2円で前年比4.9%の円高となり、合わせて約4.4%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.6%の増加要因となり、合計で約10.2%の増加要因となる。

3) 12月は、対ドルが12月10日17:00時点の121.7円とすれば、前年に比べて2.7%の円安、また、対ユーロは133.9円で9.1%の円高となり、合わせると約1.0%の為替増加要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約1.0%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～その他地域、ASEAN・南アジア、中国向けが前年同月比マイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、最も伸びたのが、①9.4%を占める韓国・台湾向けで、半導体製造装置等産業機械(19.7%増)、電子デバイス(26.5%増)、自動車(14.4%増)等が大幅に増加して8.1%増となった。②次に伸びたのは、12.0%のEU向けで、17%を占める産業機械(4.9%減)がマイナスとなったものの、36%を占める自動車(21.6%増)や理化学用機器等軽機械(3.4%増)等がプラスとなって、7.1%増となり、③26.1%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の51%を占める自動車(8.7%増)をはじめ、産業機械(3.3%増)、航空機部品(2.8%増)、民生用電子機械(19.1%増)等が増加して5.6%増となった。

2) 他方、減少したのは、①16.8%のその他地域向けで、アフリカ(32.8%減)、中南米(23.7%減)、ロシア東欧等(17.6%減)向け等が大幅に減少し、機種では66%を占める自動車(3.2%減)や船舶(45.4%減)、産業機械(17.1%減)等がマイナスとなって12.1%減となった。②14.4%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(24.1%減)、シンガポール(16.3%減)、インド(16.0%減)等が大幅に減少し、業種では、全体の27%の自動車(9.8%増)が増加したものの、20%を占める産業機械(7.0%減)、電子デバイス(14.6%減)等がマイナスとなって4.2%減となり、③21.3%を占める中国向けでは、産業機械(1.2%増)が増加したものの、全体の16%を占める自動車(2.6%減)、電子デバイス(2.5%減)、光学機械(6.9%減)等が減少して2.7%減となった。

3) また、リーマンショック前の2007年10月の地域別輸出額と比較すると、ASEAN・南アジア、中国向けが90%台、韓国・台湾、北米向けが80%台、その他地域向けが70%台、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2015/8			2015/9			2015/10			対07年 10月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	37,245	3.4	100.0	42,326	2.5	100.0	42,905	▲ 0.6	100.0	0.83
北米	9,303	10.7	25.0	10,804	10.4	25.5	11,182	5.6	26.1	0.85
中国	8,162	▲ 2.9	21.9	8,955	2.3	21.2	9,132	▲ 2.7	21.3	0.99
ASEAN・南アジア	5,737	2.2	15.4	6,311	2.5	14.9	6,198	▲ 4.2	14.4	1.00
EU	4,103	▲ 1.6	11.0	4,896	4.7	11.6	5,166	7.1	12.0	0.60
韓国・台湾	3,715	11.6	10.0	3,909	11.1	9.2	4,023	8.1	9.4	0.88
その他	6,226	2.2	16.7	7,451	▲ 11.3	17.6	7,203	▲ 12.1	16.8	0.73

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2015/7		2015/8		2015/9		2015/10	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,006	19.5	1,722	3.0	1,908	14.2	1,980	4.4
台湾	2,188	20.0	1,992	20.3	2,000	20.7	2,043	12.0
ASEAN・南アジア								
タイ	1,775	8.9	1,494	▲ 5.8	1,703	7.4	1,708	5.8
シンガポール	886	▲ 7.0	917	▲ 1.3	1,085	16.8	1,004	▲ 16.3
インドネシア	701	▲ 14.3	670	▲ 9.1	662	▲ 10.1	591	▲ 24.1
マレーシア	776	6.3	671	5.1	665	4.1	690	▲ 2.9
フィリピン	620	3.4	571	13.3	650	29.0	641	5.5
ベトナム	675	29.5	631	16.8	652	20.6	655	0.2
インド	421	13.1	369	1.1	398	9.0	412	▲ 16.0
パキスタン	136	20.1	132	37.0	134	39.6	165	51.4
その他地域								
中南米	2,390	3.7	1,970	1.9	2,311	▲ 9.0	2,027	▲ 23.7
中近東	2,172	5.0	1,820	21.4	2,329	0.2	2,448	8.9
大洋州	1,646	30.9	1,137	8.5	1,261	▲ 9.9	1,247	▲ 0.7
ロシア東欧等	845	▲ 31.4	675	▲ 36.2	954	▲ 28.8	954	▲ 17.6
アフリカ	651	▲ 25.0	592	4.9	611	▲ 28.4	583	▲ 32.8

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中プラスは13業種、重電気機械、船舶等5業種が二桁のマイナス～

1)業種別では、全21業種中13業種がプラスとなり、前月と同じであった。業種では、全体の約37%を占める自動車(5.2%増)が5ヶ月連続、16%の産業機械(0.0%増)が14ヶ月連続、8%の電子デバイス(0.7%増)が15ヶ月連続のプラスとなったものの、重電気機械(11.2%減)、船舶(38.1%増)、建設機械(14.6%減)、工作機械(14.1%減)、陸用内燃機関(15.2%減)が二桁のマイナスとなり、機械全体で0.6%減となった。

2)この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、農業機械、軽機械、ベアリング、医療機械、光学機械の6業種で前月に比べて1業種マイナスとなり、他方、電子計算機が30%台、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2015/8			2015/9			2015/10			対07/10比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	12,396	6.7	33.3	自動車	15,449	5.3	36.5	自動車	15,769	5.2	36.8	0.86
産業機械	6,551	5.2	17.6	産業機械	6,464	0.7	15.3	産業機械	6,888	0.0	16.1	0.96
電子デバイス	3,361	3.9	9.0	電子デバイス	3,580	8.4	8.5	電子デバイス	3,403	0.7	7.9	0.74
軽電気機械	2,008	5.3	5.4	軽電気機械	2,215	4.0	5.2	軽電気機械	2,258	▲ 0.2	5.3	0.86
重電気機械	1,858	▲ 3.8	5.0	重電気機械	1,934	▲ 5.9	4.6	重電気機械	2,080	▲ 11.2	4.8	0.95
軽機械	1,527	▲ 0.1	4.1	民生用電子機械	1,691	6.5	4.0	軽機械	1,745	1.1	4.1	1.25
民生用電子機械	1,515	0.3	4.1	軽機械	1,668	11.9	3.9	民生用電子機械	1,734	0.2	4.0	0.41
光学機械	1,311	▲ 11.5	3.5	船舶	1,532	▲ 12.6	3.6	光学機械	1,448	▲ 7.8	3.4	1.07
船舶	1,106	32.3	3.0	光学機械	1,430	▲ 8.9	3.4	船舶	1,184	▲ 38.1	2.8	0.63
建設機械	830	▲ 10.0	2.2	建設機械	951	▲ 14.1	2.2	通信機械	906	26.4	2.1	0.92
工作機械	750	▲ 23.2	2.0	通信機械	875	33.8	2.1	建設機械	861	▲ 14.6	2.0	0.64
航空機部品	711	5.6	1.9	工作機械	781	▲ 26.8	1.8	航空機部品	846	6.8	2.0	1.90
通信機械	586	18.6	1.6	航空機部品	767	14.3	1.8	工作機械	777	▲ 14.1	1.8	0.88
電子計算機	449	4.5	1.2	医療機械	529	12.8	1.2	電子計算機	511	3.0	1.2	0.38
医療機械	410	9.4	1.1	電子計算機	491	▲ 3.0	1.2	医療機械	451	2.9	1.1	1.09
ベアリング	374	▲ 2.4	1.0	ベアリング	390	▲ 1.4	0.9	ベアリング	431	▲ 5.2	1.0	1.20
陸用内燃機関	329	▲ 3.5	0.9	陸用内燃機関	362	4.4	0.9	陸用内燃機関	348	▲ 15.2	0.8	0.83
農業機械	207	13.5	0.6	農業機械	235	38.1	0.6	農業機械	260	36.9	0.6	1.35
繊維機械	175	▲ 13.0	0.5	繊維機械	166	▲ 5.5	0.4	繊維機械	186	4.4	0.4	0.67
鉄道車両	114	56.3	0.3	産業車両	140	14.3	0.3	産業車両	143	5.4	0.3	0.64
産業車両	109	▲ 2.1	0.3	鉄道車両	110	114.9	0.3	鉄道車両	65	21.0	0.2	0.95
21業種合計	36,676		98.5	21業種合計	41,650		98.4	21業種合計	42,227		98.4	0.83

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5)機種別動向～農業機械、産業用ロボット、通信機械部分品等が大幅増、船舶、発電機等が大幅減～
 1)10%以上の伸び率を示した機種は、9 機種となり、①北米向け**農業機械**(36.9%増)、②北米、EU、中国向け**産業用ロボット**(35.4%増)、③中国向け**通信機械部分品**(34.0%増)、④北米向け**磁気カード・ディスク等**(27.1%増)、⑤中国、ASEAN・南アジア向け**受信変換・その他送受信**(26.3%増)、⑥韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(24.2%増)、⑦北米向け**鉄道車両**(21.0%増)、⑧北米、その他地域向け**乗用車**(12.9%増)、⑨北米、EU 向け**TV**(12.5%増)であった。

2)一方、最も落込み幅が大きいのが、船舶(38.1%減)、発電機(28.3%減)等であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)(単位:億円、%)

2015/8			2015/9			2015/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	114	56.3	鉄道車両	110	114.9	農業機械	260	36.9
半導体製造装置	1,335	48.4	通信機械部分品	505	50.4	産業用ロボット	180	35.4
受信変換その他送受信機器	166	35.5	農業機械	235	38.1	通信機械部分品	508	34.0
磁気カード・ディスク等	189	32.8	半導体製造装置	1,294	31.1	磁気カード・ディスク等	212	27.1
船舶	1,106	32.3	磁気カード・ディスク等	202	31.0	受信変換その他送受信機器	186	26.3
通信機械部分品	249	20.3	TV	125	26.7	半導体製造装置	1,194	24.2
発電機	96	18.6	理化学用機器	460	23.6	鉄道車両	65	21.0
TV	117	18.3	受信変換その他送受信機器	179	18.6	乗用車	9,802	12.9
貨物自動車	852	18.2	航空機部品	767	14.3	TV	124	12.5
産業用ロボット	139	18.0	産業車両	140	14.3	機種合計	12,531	* 29.2%
機種合計	4,363	* 11.7%	機種合計	4,017	* 9.5%			

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2015/8			2015/9			2015/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
デジカメ・ビデオ	295	▲ 27.8	工作機械	781	▲ 26.8	船舶	1,184	▲ 38.1
工作機械	750	▲ 23.2	電池	225	▲ 18.1	発電機	107	▲ 28.3
原動力機械	302	▲ 20.8	金属加工機械	258	▲ 17.5	デジカメ・ビデオ	404	▲ 17.2
写真機の部分品・附属品	129	▲ 19.2	風水力機械	679	▲ 17.2	電動機	146	▲ 16.7
繊維機械	175	▲ 13.0	その他の重電機器・部分品	438	▲ 17.0	陸用内燃機関	348	▲ 15.2
その他の重電機器・部分品	417	▲ 11.8	電動機	129	▲ 17.0	建設機械	861	▲ 14.6
その他の光学機器	1,102	▲ 11.5	デジカメ・ビデオ	370	▲ 16.3	電池	225	▲ 14.6
電動機	130	▲ 11.2	建設機械	951	▲ 14.1	工作機械	777	▲ 14.1
時計	99	▲ 10.3	船舶	1,532	▲ 12.6	その他の重電機器・部分品	507	▲ 11.9
金属加工機械	273	▲ 10.1	その他の光学機器	1,203	▲ 10.4	風水力機械	703	▲ 11.8
機種合計	3,672	* 9.9%	機種合計	6,566	* 15.5%	機種合計	5,262	* 12.3%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～航空機・部品等、自動車部品、試験・検査機等が大幅増～

1)10月の機械輸入伸び率は1.0%増と7ヶ月連続でプラスとなった。電子計算機(17.7%減)、乗用車(11.8%減)が大幅減となったものの、航空機・部品等(14.4%増)、自動車部品(6.2%増)、試験・検査機(2.1倍)等が増えたことにより、プラスとなった。

2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は携帯電話、電子計算機、航空機・部品等、白物家電、医療機械、受信変換・その他送受信、時計、TVとなっている。

3)地域別機械輸入額は、全体の42%を占める中国(5.5%減)、北米(14.4%増)、ASEAN・南アジア(5.3%増)、EU(8.1%増)、韓国・台湾(3.0%減)、その他地域(6.2%増)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2015/8				2015/9				2015/10			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,304	4.1	12.2	携帯電話	2,654	▲ 7.1	12.6	電子デバイス	2,519	0.7	11.7
電子計算機	1,884	21.4	10.0	電子デバイス	2,561	0.1	12.1	携帯電話	2,494	▲ 0.3	11.5
航空機・部品等	1,110	14.5	5.9	電子計算機	1,959	9.1	9.3	電子計算機	1,762	▲ 17.7	8.2
乗用車	1,071	14.7	5.7	自動車部品	1,249	15.0	5.9	航空機・部品等	1,284	14.4	5.9
自動車部品	1,031	7.1	5.5	乗用車	970	3.8	4.6	自動車部品	1,187	6.2	5.5
携帯電話	830	129.4	4.4	白物家電	682	10.7	3.2	乗用車	917	▲ 11.8	4.2
白物家電	622	9.9	3.3	航空機・部品等	658	▲ 24.4	3.1	白物家電	695	1.0	3.2
医療機械	620	12.0	3.3	医療機械	639	5.0	3.0	医療機械	644	▲ 0.6	3.0
配電機器	525	15.5	2.8	配電機器	561	4.9	2.7	受信変換その他送受信	544	▲ 0.9	2.5
受信変換その他送受信	518	▲ 0.3	2.7	受信変換その他送受信	518	▲ 1.2	2.5	配電機器	541	4.6	2.5
その他の配電制御装置	395	20.9	2.1	その他の配電制御装置	449	11.9	2.1	試験・検査機	534	112.1	2.5
コンデンサー等部分品	375	9.9	2.0	コンデンサー等部分品	405	2.0	1.9	その他の配電制御装置	409	2.1	1.9
12機種合計	11,285		59.8	12機種合計	13,305		63.1	12機種合計	13,530		62.6

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等